

産学官民連携型農学生命科学研究インキュベータ機構
共催 AGRI-COCOON 国際農業と文化フォーラム・ゼミナール (ACT48)
第13回ラオス養殖研究会・地球研「エリアケイパビリティー・プロジェクト」協賛

マングローブエリアの保全と開発

-住民とマングローブの共生を目指して-

2010年9月11日(土) 13時30分より

東京大学農学部2号館1階121講義室(化学2番講義室)

講演者 (敬称略)

◇神崎 護 (京都大学大学院 農学研究科森林科学専攻)

『マングローブ植林地の減災効果と炭素隔離効果: ミャンマー
イラワジデルタでの事例研究』 13:40-

◇松井直弘 (JICA専門家-ミャンマー・エーヤーワディデルタ住民参加型
マングローブ総合管理プロジェクト、(株)環境総合テクノス)

『エーヤーワディデルタの住民とマングローブと技術』 15:00-

◇岩尾恒雄 (JICA専門家-ミャンマー・エーヤーワディデルタ住民参加型
マングローブ総合管理プロジェクト)

『マングローブ共有林グループによるカキ養殖』 15:30-

問合せ先

東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 国際水産開発学研究室

Tel 03-5841-5018, E-mail lao-aqua@hotmail.co.jp

<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/>

写真: タイ国・トランのマングローブ域